



浜小だより

7月号

No. 5

茅ヶ崎市立浜須賀小学校 TEL 85-1184

平成29年7月20日 校長 柴山 比都美



蝉が鳴き始めました。梅雨明けも間近でしょうか？
いよいよ夏休み。疑問に思ったことを実験・観察で確かめよう。



15日の朝、今年初めて蝉の声を聴きました。蝉が鳴き始めると、あー、夏休みだ、梅雨明けだ、と思います。学校の桜の木の下にも、蝉が抜け出た穴がいくつかあいていました。蝉は、長い間土の中で幼虫として暮らします。皆さんは、抜け殻を見ることはありますが、幼虫から成虫に羽化しているところを見たことがありますか。「ある。ある。見たことがある。」という人は、あまりいないように思います。なぜでしょう。それは、夕方、土から出てきて、暗くなってから羽化するからです。本当でしょうか？長い休みです。疑問に思ったことを自分の目で確かめてみませんか。おうちの方の協力も必要になることがあります。疑問に思ったことを相談してみてもはどうでしょうか。

次の言葉は誰が言った言葉でしょう。

「きっかけは大好きな家族や友達の中にあります。ひらめきは遊びの中にあります。成功はあきらめた頃にやって来ます。そして皆さんひらめいたら失敗を恐れずとにかくやってみる。これが一番大切なことだと思います。」これは、特許を取った愛知県の小学校の神谷明日香さん(12)の言葉です。

皆さんは、磁石を知っていますね。磁石にくっつく物も分かりますね。鉄が磁石にくっつくという性質を利用して、スチール缶とアルミ缶を自動分別するゴミ箱を開発し特許を取得したのが神谷さんという小学生です。神谷さんのおじさんが自宅前の自動販売機の空き缶を、苦労して仕分ける姿を見て、「分別作業が簡単にはできないか」と考えました。きっかけは、おじさんのためだったのです。材料は、ホームセンターで購入することができる、安価な材料です。うまくアルミ缶とスチール缶が分別できるように何度も何度も実験を繰り返し、スチール缶とアルミ缶を自動分別するゴミ箱が完成しました。これは、神谷さんの夏休みの自由研究の作品です。皆さんも家族が困っていることを解決したり、疑問に思ったことを調べたりしてみましょ。ものを作る、動植物を育てる、料理をする、等いろいろな体験をすると考える力や判断力等を培い感性を豊かにすることができます。夏休みが、充実しますよ。



楽しい夏休みにするために！

待ちに待った夏休みです。自由な時間がいっぱい夏休みは、いろいろな体験ができ有意義な夏休みにもなりますが、目が届きにくくもあります。しっかりとご家庭での約束事を決め規則正しい生活を心がけましょ。夜遅くまで出歩くことは犯罪被害に遭うきっかけとなり大変危険です。5時のチャイム「赤とんぼ」が鳴ったら必ず帰りましょ。

保護者の皆様、ご存知と思いますが、ゲーム機や携帯音楽プレーヤーなどからインターネットにつながる機器もあります。長い時間の利用による生活習慣の乱れ、インターネット上のコミュニケーションによるトラブルやいじめ、子どもでも手軽に社会や世界に向けて情報を発信できるようになり大きな問題となっています。適切なインターネットの使い方、家庭でのルール作り、「フィルタリング」の設定等、保護者としての責任を果たしていきましょ。



ジュニアライフセービング (PTA 主催)
夏休み前の7月9日、子どもたちが安全に海を楽しむことができるように、津波、離岸流、海の危険な生き物、環境保全等、海について学習しました。学習した後は、みんな楽しく遊びました。